

## 授 業 概 要

授業のタイトル (科目名) 介護過程 I		授業の種類 (講義)・演習・実習)		授業担当者 城田 忠	
授業の回数 15回	時間数(単位数) 30時間(2)	配当学年・時期 1年 前期	必修・選択 必修		
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>介護過程が理解できる(課題解決の思考過程であることがわかる)とともに、他の科目で学習した知識や技術を統合していき理解を深める。</p> <p>[授業全体の内容の概要]</p> <p>利用者の生活が理解でき、個別性を考えた援助が提供できるよう、知識技術を習得させ、学生の到達度を確認する。</p> <p>[授業終了時の達成課題(到達目標)]</p> <p>利用者の生活状況が理解でき、介護の業務を知り、利用者の個別性に合った援助が提供できるようになる。</p> <p>[授業のテーマ・内容]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション・介護過程とは <u>介護過程の意義と基礎的理解</u></li> <li>2 介護過程の構成要素</li> <li>3 介護過程展開の基本視点、情報収集</li> <li>4 情報とは、情報収集の方法</li> <li>5 情報収集の方法(生情報と解釈情報)</li> <li>6 情報の分析・判断・解釈・統合とは</li> <li>7 〃</li> <li>8 事例Aさん</li> <li>9 Aさんの再分析(演習)</li> <li>10 情報収集(Bさん、学生、介護職員)課題の演習</li> <li>11 情報収集(個人としての側面、障害疾病の側面)</li> <li>12 情報の分析、関連づけ</li> <li>13 課題の抽出、課題の優先順位</li> <li>14 課題の抽出(演習)</li> <li>15 まとめと試験</li> </ol>					
[使用テキスト・参考文献] 最新介護福祉士養成講座 介護過程			[単位認定の方法及び基準] (試験やレポートの評価基準など) 試験80%出席10%レポート10%		